VERI NEWS

2026年秋号

地域の皆様に信頼され、
貢献できる病院を目指して

The Veritas Hospital

①『 ICナビ』のご案内
②『VERI-DR’S-NET倶楽部総会』開催報告
③『多田コミュニティ協議会サマーフェスティバル』
　看護師派遣
『心不全再入院予防継続管理料WEB説明会』
　開催報告
④『地域連携ディスカッション　－二次性骨折予防－』
　WEB開催報告　／　編集後記



『 ICナビ』のご案内

「もっとわかりやすく、もっとスムーズに！」 新システム「ICナビ」を導入しました。

皆様にこれまで以上に安心して治療を受けていただけるよう、当院では新しく「ICナビ」を導入いたしました。このシステムは、タブレット端末などを使い、検査や入院手続きなどの説明をサポートする医療DX（デジタル技術による医療の利便性向上）ツールです。診察室やベッドサイドでタブレットの画面を見ながら、治療計画や検査の流れについて説明を受けることができるようになります。

～患者様とご家族にとっての安心～

★動画アニメーションで「見てすぐわかる」

口頭や紙の書類だけではイメージしづらかった手術や検査の流れ、お薬の飲み方などを、動画やアニメーションを使って分かりやすく解説します。「目で見て納得できるから、これからの治療への不安が和らいだ」と、導入した多くの医療現場で喜ばれています。

★ご自宅で何度も見直せる、家族に共有できる

診察室で一度説明を聞いただけでは、あとから「あれどうだったっけ？」と不安になることもあると思います。このシステムでは、スマートフォンなどを使って、ご自宅から同じ説明動画を繰り返し視聴することができます。遠くにお住まいのご家族に「こんな説明をうけたよ」と共有する際にも非常に便利です。

★待ち時間の短縮

従来の説明では、担当者につきおひとり様ずつしかご案内することができませんでした。そのため、場合によっては長時間お待たせすることがありました。ICナビの導入で複数の方に同時に案内できるようになったため、待ち時間の短縮につながります。デジタル化されることでスタッフとのかかわりが減るのではと心配される声があるかもしれません。しかしながら、説明業務や事務処理を医療DXにまかせることで、医師、看護師をはじめとするスタッフが、より患者様にかかわる時間が確保できると考えております。

＊当院では、まず入院手続きから順次導入を開始、今後は運用を広げていく予定です。操作方法で分からないことがあれば、いつでもお近くのスタッフにお気軽にお声がけください！





発行：ベリタス病院広報委員会　令和8（2026）年10月20日発

『VERI-DR’S-NET倶楽部 総会』開催報告

9月12日（土）『VERI-DR’S-NET倶楽部総会』を開催しました
地域の開業医様との連携ネットワーク『VERI-DR’S-NET倶楽部』は現在66の医院様に登録いただいています。今回約10年ぶりに開催した総会は川西市・猪名川町・豊能町・能勢町・池田市の21名の先生方にご参加いただきました。
総会では嶋院長（整形外科）をはじめ辻本副院長（循環器科）、水野消化器病センター長、出原消化器・一般外科医長の4名が現在行っている診療や検査・手術などについて講演しました。









聴講された先生方から数多くの質問を頂き、活発な意見交換が行われました。





普段はなかなか行いたくても行えていない、『病診連携の顔の見える関係づくり』をおこなえた、とても意義のある総会となりました。今後はこのような会を定期的に行い、地域の先生方と連携・協力して地域の皆さまに貢献していきたいと思います。

『VERI-DR’S-NET倶楽部』に関して詳しくは当院ホームページ『地域医療・広報』
→『 VERI-DR’S-NET倶楽部登録医のご紹介』をご参照ください。
当該ページのQRコードはこちらになります。

『多田コミュニティ協議会サマーフェスティバル』看護師派遣

8月22日（土）に開催されました『多田コミュニティ協議会サマーフェスティバル』に協議会様からご要請いただき当院看護師を派遣しました。
当日は幸いにも急病者等なく、来場者の皆様が安心してイベントを楽しまれた一助となれたかと思います。今後もこのような地域に貢献できる機会があれば積極的に協力をしていきたいと思います。

『心不全再入院予防継続管理料WEB説明会』開催報告

10月7日（水）『心不全再入院予防継続管理料WEB説明会』を開催しました。
心不全は症状が改善した後も適切な管理を怠ることで再増悪を繰り返し、再入院に繋がることがあります。今年度の診療報酬改定では、心不全増悪による再入院を予防することを目的とした『心不全再入院予防継続管理料』が新設されました。
具体的には急性心不全で入院した患者さんの入院中から退院後にかけて多職種が連携し、早期介入を行うことで再入院を予防することを目的としています。
今回当院では退院後に継続的な評価や治療を行っていただくクリニック様を対象にWEB説明会を開催しました。当日は多忙の中を16クリニック様にご参加いただき、当院の心不全看護認定看護師や管理栄養士、加えて医事や地域連携の担当者から具体的な連携方法や届出・算定方法などについて説明を行いました。

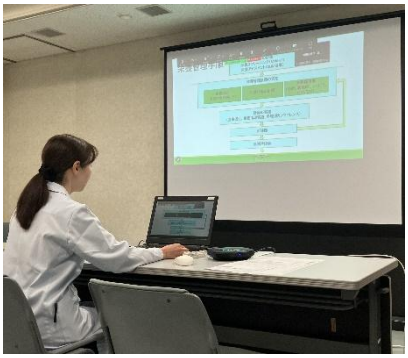
循環器科部長



心不全看護認定看護師

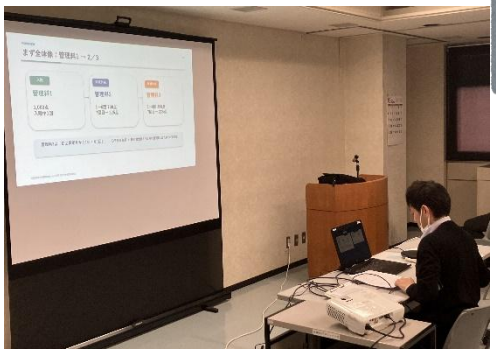


管理栄養士

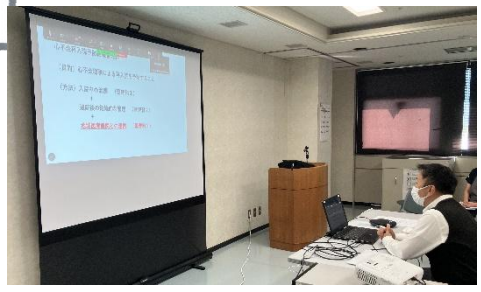




医事課



地域医療連携室



ベリタス病院　基本理念

真心のこもった
良質な医療を通じて
地域社会に貢献します

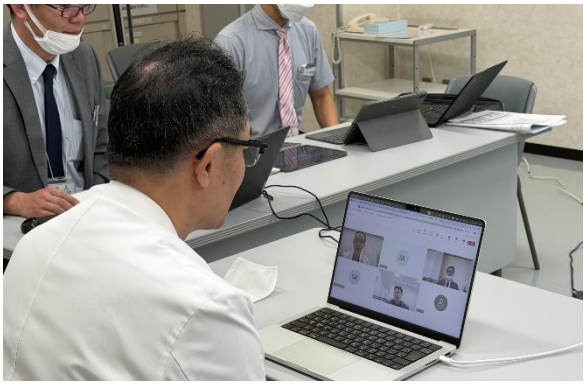
●基本方針

1.安全で安心な医療を提供します
2.優秀な医療技術の向上に努めチーム医療を推進します
3.快適な医療技術を提供します
4.全職員が誇りをもって働ける環境をつくります
5.安定した経営を維持し地域と職員に還元します

『地域連携ディスカッション　－二次性骨折予防－』WEB開催報告

10月8日(木)『地域連携ディスカッション　－二次性骨折予防－』をWEBにて開催しました。
『二次性骨折予防』は一度骨折した患者様の再骨折を防ぐため、骨粗鬆症の検査や治療を継続して行う取り組みです。
当日は最初に院長の嶋や地域連携担当者から当院の骨粗鬆症の治療や連携への取り組みについて説明を行いました。その後は参加いただいたクリニック様からの質問や要望などを多数頂き、意見交換を行ないました。
この会は活発なディスカッションを行うため少数のクリニック様と行います。今後も連携して骨粗鬆症を診る地域の整形外科、内科の多くのクリニック様と会を重ねていく所存です。

※二次性骨折予防　　骨粗鬆症が進行すると骨が弱く脆(もろ)くなり、大腿骨の付け根などに少し外力が加わっただけでも折れてしまうことがあります。このような骨折を脆弱性(ぜいじゃくせい)骨折といいます。骨粗鬆症を有する大腿骨骨折患者の生命予後は健康な人やその他の骨折患者と比べて悪いため、骨折を予防することが重要です。一度脆弱性骨折を起こした場合、再骨折の危険性は高く、初発骨折1年後の再骨折リスクは骨折のない方に比べて2.7倍高いと言われています。これを二次性骨折と呼び、急性期治療を終えた後に適切な治療がなされないと連鎖的に骨折を起こし、寝たきりや要介護などにつながる危険性が高まります。初回骨折後に骨粗鬆症の治療介入を開始しかつ継続することが重要で、『地域による連携』が鍵になります。





編集後記

今年はここ数年のなかでも比較的、秋らしい過ごしやすい日が続いていたように感じます。
ただ少しずつ肌寒くなるなかで、インフルエンザが流行してきました。
手洗い・マスクの着用やワクチンの接種など予防に努めてください。
インフルエンザ予防接種の対応医療機関はお住まいの市区町村のホームページなどでご確認ください。

また寒くなってくると『ヒートショック』で救急搬送される患者さんが増えてきます。
特に入浴時に脱衣所や浴室の寒暖差にご留意ください。





次号は2027年1月下旬発行予定です

医療法人晋真会 ベリタス病院
〒666-0125　川西市新田1丁目2番23号
TEL:072-793-7890　FAX:072-792-5771